

9月議会最終日に市長不信任案提出を決意 日本共産党議員団

不適切発言繰り返す市長は不適格

中川市長は、7月1日と3日に兵庫県三田市の米を不当に貶める発言をしましたが、こうした不適切な発言はこれまでも何度も繰り返され、昨年7月臨時議会では辞職勧告決議を受けています。

このように何度も失言を重ね、市政に対する市民の信頼を失わせる市長は、市長として不適格であると言わざるを得ません。

議会は辞職を申し入れ

こうした事態を受けて、市議会は7月14日に全議員の合意を得て、議長名で辞職を申し入れました。この申し入れでは、「市議会から嚴重な抗議や辞職勧告決議を受けたにもかかわらず、再び同様の失言をしたことについて、市議会としては看過できない深刻な事態であると考えている」また、この度の失言では、他自治体

の住民の気持ちを傷つけ、自治体間の関係等においても由々しき事態を生じさせており、更に、市のイメージも大きく損ねたことから、その責任は極めて重いものがある」と強い言葉で指摘しています。

8月の全員協議会で辞職を否定

ところが、8月28日に行われた市議会全員協議会で市長は、「残された任期において市長としての職責を全うしたい」「(次期市長選でも)立候補して市民の審判を仰ぎたい」と述べ、申し入れを否定しました。

議会として対応すべき

議会はこのように申し入れを否定されましたので、すぐに次の手だてを取るべきです。ところが多くの議員は極めて慎重な姿勢に止まっています。しかし、それでは議会としての矜持が問われます。

そこで、日本共産党議員団は、市民の信頼をとりもどし、今後の市政運営を公正なものとするため、市長に対して法的な拘束力のある「不信任決議」を提案することとしました。

なお、不信任決議案は最優先審議事項ですので、議会初日に提案すると真っ先に審議され、可決されると9月議会に提案される予定の補正予算などは提案できなくなります。

このことは当面の市民生活に大きな影響を与えることになりますので、提出時期は議会最終日としました。

賛同者拡大と文案の推敲

日本共産党議員団は、議会最終日の提出に向けて、不信任案提出の賛同者を募る活動と、文案の練り込みを重ねています。

日米豪共同訓練は中止を！

本城・山本両議員
日本共産党議員団

中川市長に申し入れ

陸上自衛隊は、9月16(24)日に岡山演習場を主体演習場として、米国陸軍及び豪(オーストラリア)陸軍との実動訓練(訓練名「オリエン・ト・シールド25」)を実施すると発表しました。

この共同訓練に関しては、概要が発表されたのみで、参加人数や詳しい訓練内容、演習場周辺での市民との接触状況などは不明です。

発表された概要では、

- ◇ 共同戦闘訓練
- ◇ 各種小火器や迫撃砲による共同実弾射撃訓練
- ◇ ヘリコプターによる人員及び物資輸送(吊り下げ)訓練
- ◇ 野戦病院を開設しての共同衛生訓練

を、岡山演習場を舞台に日、米、豪の各陸軍の歩兵部隊が実施する予定とされておられ、まさに戦争そのものの訓練です。

このような大規模訓練は、平和を希求する日本国憲法第9条に反し、「専守防衛」の立場とも全く相容れないものであるばかりか、北東アジアの緊張をますます高め、安全保障環境をいっそう悪化させるだけです。

そこで、日本共産党議員団3人と本城文夫議員・山本佳洋議員は8月27日、市長に対して別項の通りの申し入れを行い、危険な訓練の中止を求めました。申し入れには、市長代理として小田基史副市長が対応しました。

日米豪共同訓練に関する緊急申し入れ 2025年8月27日

(前文略)

行しないよう求めること。

- 1 妙高市とも連携し、日米豪共同訓練を中止するよう防衛省など関係機関に働きかけること。
- 2 住民の安全・安心を保障するため、訓練内容を公表すること。また、関係機関に詳細の公表を求めること。
- 3 ヘリコプターによる訓練では、搭載物や部品の落下等が懸念されることから、少なくとも、飛行ルートは住宅街の上空をさけ、市民生活に影響を及ぼす時間帯は飛
- 4 訓練に参加する隊員には、演習場外への外出や宿泊等を行わないよう求めること。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.882 2025年9月7日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>